



# 学校だより

令和3年11月30日  
国分寺市立第三小学校  
NO. 483  
校長 古林 香苗



## ふれあい月間について

生活指導主幹 北原 康弘

東京都では、11月をふれあい月間（いじめ防止強化月間）とし、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子供たちの健全な育成を目指して重点的な取組を行っています。

本校においても、「いじめを生まない、許さない学校づくり」という基本理念のもと、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、日々の教育活動に取り組んでいます。

このふれあい月間には、全校児童を対象に、「いじめについての調査」を行い、悪口や暴力、仲間外れ、友達が嫌なことをされているところを見たことなどを細かく聞き取るとともに指導しました。また、いじめ防止のための指導を学級ごとに行いました。教職員も研修を通して、PDCAサイクルによる評価と改善点を挙げ、これまでの取組を総点検しました。

「いじめ」と一言で言っても、その度合いは様々です。「友達から『バカ』と言われて嫌な気持ちになった。」というものも「いじめ」ですし、生命または身体に重大な危険を生じさせるものも「いじめ」という言葉で表現されます。「いじめ防止対策推進法」という法律に、「いじめ」とは、「当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義付けられています。そこには、苦痛の大小や期間の長短は含まれません。つまり、周囲から見てどんなに軽微に感じられることでも、その本人が苦痛に感じたらそれは「いじめである」ということです。

本校では、「いじめは、どこの学校・どの学級でも起こりえるものであり、いじめ問題に全く無関係な児童はいない。」という基本認識に立ち、児童全員がいじめのない明るく楽しい学校生活を送ることができるようするために、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に、全力で取り組んでいきます。

そのために、今後も「一人一人を認め合える学級づくり」を目指すとともに、「学習規律の徹底」、きょうだい学級交流会のような「人と関わる喜びを味わえる体験活動」などを通して、いじめを生まない土壌づくりに取り組んでいきます。今後とも、本校のいじめ防止に対する取組にご理解とご協力をお願いいたします。

## 安全対策会議に参加して

11月20日（土）に、地域の見守りの方や民生児童委員の方、PTAの方々が参加して安全対策会議が開かれました。本校では多くの皆様による見守りや旗振りにより子供たちの安全が守られており、大変ありがたいことを実感しました。是非子供たちも、寒い中、またお忙しい時間に見守ってくださっていることに感謝の気持ちを持ち、進んで挨拶をしてほしいと思いました。また、カーブミラーを見ることや通学路を守ること、他の家の敷地内に勝手に入らないことなど、安全で正しい登下校の仕方について今後も指導をしていくことを確認しました。



## 冬休みの生活

生活指導部 北原 康弘

冬休みは伝統的な行事がたくさんあり、年末年始は普段より多くの時間を家族と過ごせる機会になると思います。家族や社会の一員としての自覚を深める良い機会です。

子供たちには、冬休みを健康で安全に過ごし、明るい気持ちで新年を迎えて欲しいと願っています。そこで、以下の内容についてご家庭でも話し合ってください。

- (1) 年末年始の多忙な時期は家族の一員として、仕事をさせてください。
- (2) 身の回りの整理整頓、掃除などをさせてください。
- (3) 1年間の成長を喜び、新年のめあてづくりをさせてください。
- (4) 生活が不規則になり、健康を損ないやすい時期です。規則正しい生活と、引き続きうがい手洗いなどの健康管理にご配慮ください。
- (5) 交通事故が多発する時期です。交通ルールを守り、自転車による飛び出し等には十分注意をするよう声掛けをお願いします。
- (6) 子供の持ち物に気を配り、金銭の正しい扱いができていますかご注意ください。

## いじめ防止 児童会・生徒フォーラムの報告

代表委員会担当 小倉 さえ子

11月6日(土)に「いじめ防止 児童会・生徒会フォーラム」が第四小学校で行われました。市内15校の小中学校から代表児童・生徒が、パネリストとして参加しました。全校の校長、教育委員会、教育系大学教授、保護者などが見守る中、3つのグループに分かれ、各校のいじめ防止に向けた取組を紹介したり、「差別とは何だろう」をテーマに話し合ったりしました。三小の取組としては、「あいさつ運動」「きまりを守ろう週間の取組」「雨の日を楽しく過ごそうの取組」(雨の日展覧会・全校テレビじゃんけん大会など)を紹介しました。これからも校内の雰囲気明るくし、いじめのない学校を目指していきます。



## こすもす教室(特別支援教室)による教員研修会について

特別支援教育コーディネーター 志水 美智子

本校の特別支援教室「こすもす教室」の巡回指導教員を講師として、特別支援教育の基本的な考え方やこすもす教室の活動について学びを深めました。こすもす教室では、それぞれの児童の特性を考慮し「小集団指導」「個別指導」を通して学習を行っていることや、担任と連携した指導例・教材の紹介がありました。後半の活動体験では、実際にこすもす教室で行っている「ボッチャ」「ドンちっち」「ヒットマンガ」の3つの活動を体験しました。それぞれの活動には、勝敗を受け入れること、状況に合った言動や相手に分かりやすく伝えること等を目的にしています。

研修を通して、特別支援教育や一人一人の児童の理解を深め、学校全体で指導に取り組んでいきます。



## 冬の体育的な取組

体育的行事委員会 島田 聡介

12月を迎え、寒さも本格的になってきました。本校では、体力の向上と、友達と楽しく関わり合いながら運動に取り組むことができるように、「ランラン週間」や「なわとび週間」などを設けています。

11月30日（火）から「ランラン週間」が始まります。5分間それぞれのペースで、学年で分けられたコースを走ります。校庭を1周走るとカードに色を塗ることができるので、自分がどのくらい走ったのか確認しながら体力の高まりを感じてほしいと思います。「なわとび週間」は11月に体育の時間で「なわとびチャレンジカード」を活用して、短縄の個人での目標に挑戦しました。また、3学期には長縄跳びの記録会を予定しており、学級ごとに力を合わせて挑戦していきます。

自分の体力について知ることや、遊びの中で思い切り体を動かすことも大切にしながら、目標をもって楽しく運動できるように取り組んでいきます。

## 道徳コラム

第1学年 櫻井 梨恵子

三小人権週間に合わせて、道徳の授業では「こころはっぱ」を読みました。こころはっぱの木は、みんなの心の声が聞こえ、楽しいと明るい色の葉っぱ、悲しいと寂しい色の葉っぱになる不思議な木です。友達が欲しい、いのししくんが来ると、こころはっぱの色が何色になるのか、「一緒に遊ぼう、いのししくん。」とたぬきくんやきつねくんに言われた時のこころはっぱの色が何色になるのか、葉の色を考えながらいのししくんや周りの友達の気持ちを考えました。

「一緒に遊ぶと楽しい」「友達はいっぱいいるといいな」「友達とはいろいろな遊びをしたい」「みんなでやるから楽しい」など、友達がいてよかったと思う経験を話し合うとともに、自分の思いを伝えることの大切さや言ってもらった側の嬉しさなどを感じることができました。

小学校に入学して7か月、友達もたくさんできた頃です。これからも更に、友達と進んで関わっていく気持ちを育てていきたいと思います。

## 一人1台タブレットを活用して

第2学年 浅野 唯

展覧会に向けて、2年生ではタブレットを使用する機会がぐっと増えました。「いただきます」では、自分の顔をタブレットで写真に撮り、写真を見ながらクレヨンで絵を描きました。写真に撮ることで、顔の描きたい部分をアップにしたり、細かいところを見たりすることができ、今まで気付かなかったところに目を向けて作品を作りました。また、自分の大好きな食べ物をタブレットで検索し、写真を見ながら絵に描くことで、食べ物をイメージしやすくなり、効率的に仕上げることができました。

普段の活動では、朝の会をTeamsの会議機能を使って行い、操作に慣れました。欠席している児童に向けてのTeamsでのオンライン授業などにも取り組み、子供たちは着実に使いこなせるようになっていきます。授業の中でもTeamsを開き、自分に必要な写真や動画を見て学習を進めています。



## 12月の行事予定



月	火	水	木	金	土	日
		1 研究会のため 4時間授業	2 保護者会 (2, 5年)	3 振替休業日 (6年生のみ)	4	5
6 委員会活動	7 保護者会 (1, 6年)	8	9	10 ランニング (終)	11	12
13 クラブ活動	14	15	16 5時間授業	17 5時間授業	18	19
20	21	22 給食(終)	23 大掃除 土曜時程	24 終業式 土曜時程	25 冬季休業日(始)	26

\*12月28日(火)、1月4日(火)は学校閉庁日です。

### スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー出勤日

スクールカウンセラー：2日、9日、16日

スクールソーシャルワーカー：2日、16日

### 1月初めの主な行事予定

11日(火) 始業式

12日(水) 給食開始

17日(月)～28日(金) 書初め展

### 転出について

今年度中に転校の予定(見込みも含む)がある方は、早めに担任までお知らせください。令和4年度の児童数を把握したいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

### 子ども専用相談電話について

子ども家庭支援センターの方が来校し、給食の時間に放送で「子ども専用相談電話」(通称「こそでん」)について、子供たちに詳しく説明をしていただきました。1学期に配布された「こそでんカード」の利用時間や、どんな時に電話したらよいか等、具体的に例を挙げながらお話をしてくださいました。一人で悩みを抱えずに、まずは電話をして欲しいというメッセージでした。

#### 【こそでん】

(火)～(土)午前8時30分～午後5時

Tel 0800-800-9033(通話料無料)

～募金へのご協力ありがとうございました～

赤い羽根募金 2,452円

ユニセフ募金 65,904円